



平成 26 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 日立金属株式会社
代 表 者 名 執行役会長
兼執行役社長 藤井博行
(コード番号 5486 東証第一部)
問 合 せ 先 コミュニケーション室長 釜谷和嗣
(TEL 03-5765-4075)

子会社（MMC スーパーアロイ株式会社）の取得に関するお知らせ

日立金属株式会社（執行役会長兼執行役社長：藤井博行、以下「日立金属」）は、平成 26 年 1 月 29 日開催の取締役会において、航空機・エネルギー材料事業の強化を目的とし、三菱マテリアル株式会社（取締役社長：矢尾 宏、以下「三菱マテリアル」）の完全子会社である MMC スーパーアロイ株式会社（本件取引の実行後は、名称を「日立金属MMC スーパーアロイ株式会社」（仮称）に変更予定。以下「MMC スーパーアロイ」）について、三菱マテリアルが保有する MMC スーパーアロイの株式の一部を日立金属に譲渡するとともに、MMC スーパーアロイによる日立金属に対する第三者割当の方法による募集株式の発行を行うことにより、日立金属が MMC スーパーアロイの発行済株式の 51%に相当する株式を取得する取引（以下「本件取引」）を実施することを決議し、同日付で、三菱マテリアルとの間で株式譲渡契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、三菱マテリアルは本件取引後も MMC スーパーアロイの発行済株式の 49%を保有する株主として残ることとなっており、日立金属及び三菱マテリアルが一体となって MMC スーパーアロイを運営していく予定です。

1. 本件の目的

日立金属は、材料開発をベースとした高機能材料メーカーとして、自動車・エレクトロニクス・産業インフラの各分野で、グローバルに事業を展開しています。その中で特殊鋼事業は、日立金属の中核を成す事業であり、伝統に培われた「ヤスキハガネ」ブランドに代表される、純度の高い鋼を生み出す製鋼技術と、時代のニーズに応える材料技術・材料開発力で、さまざまな産業の根幹を支える高機能材料を提供しています。その技術は航空機・エネルギー分野へと裾野を拡げており、当分野での中長期的成長をめざしています。

この実現の一環として、平成 23 年に日本エアロフォージ株式会社（岡山県倉敷市）に出資し、油圧式では世界最大級の 5 万トンとなる最先端の型打鍛造プレスへの投資に参画し、その取り組みを進めています。

一方、三菱マテリアルは、旧桶川製作所において、昭和 19 年以来 70 年間にわたり、ニッケル合金など、世界でもユニークな非鉄金属加工技術を育んでまいりました。平成 22 年には、機動的な事業運営を行うことを目的に MMC スーパーアロイ株式会社として分社独立、半世紀を超えて培ってきた高度な品質・技術・開発力を継承し、航空機・産業用ガスタービン・自動車産業等の基幹産業向けに、特殊耐熱合金・耐蝕合金、特殊銅合金などの高機能製品を提供しております。

こうした状況のもと、日立金属が永年培ってきた特殊鋼の強固な経営基盤の上に、MMC スーパーアロイが有する航空機部材の豊富な実績および技術力を併せ持つことにより、今後益々世界的に発展が見込まれる航空機・エネルギー分野の市場においてグローバル競争を勝ち抜き、中長期的成長が見込めるとの判断に至りました。

今後、日立金属は、三菱マテリアルと一体となって、MMC スーパーアロイの事業運営を推進してまいります。さらなる国際競争力の強化を図るとともに、市場やお客様が期待する新たな製品やサービス・ソリューションを提供し、顧客基盤の強化・拡大を図ってまいります。

2. 取得する子会社（MMC スーパーアロイ）の概要

(1) 名 称	MMC スーパーアロイ株式会社			
(2) 所 在 地	埼玉県桶川市上日出谷 1230 番地			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 板羽健			
(4) 事 業 内 容	特殊耐熱・耐蝕合金、特殊銅合金、その他非鉄金属材料の製造、研究開発及び販売に係る事業及びこれに附帯する事業			
(5) 資 本 金	20 億円			
(6) 設 立 年 月 日	平成 22 年 7 月 1 日			
(7) 大株主及び持株比率	三菱マテリアル 100%			
(8) 日立金属と当該会社との間の関係	資 本 関 係	日立金属と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、日立金属の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
	人 的 関 係	日立金属と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、日立金属の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	取 引 関 係	日立金属と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、日立金属の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態	決算期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
	純 資 産	5,451 百万円	5,672 百万円	6,209 百万円
	総 資 産	17,511 百万円	18,671 百万円	19,749 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	136,275.28 円	141,804.34 円	155,242.76 円
	売 上 高	11,486 百万円	15,798 百万円	16,459 百万円
	営 業 利 益	385 百万円	449 百万円	1,025 百万円
	経 常 利 益	391 百万円	447 百万円	1,000 百万円
	当 期 純 利 益	642 百万円	386 百万円	765 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	16,062.60 円	9,654.58 円	19,132.91 円
	1 株 当 たり 配 当 金	3,650 円	－円	15,641 円

(注) MMC スーパーアロイは連結指標がないため、単体指標を記載しております。

3. 取得の相手方（三菱マテリアル）の概要

(1) 名 称	三菱マテリアル株式会社	
(2) 所 在 地	東京都千代田区大手町一丁目3番2号	
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 矢尾 宏	
(4) 事 業 内 容	セメント・セメント二次製品の製造・販売、銅・金・銀等の製錬・加工・販売、超硬工具等の製造・販売、各種電子材料・電子部品の製造・販売、飲料用アルミ缶・アルミ圧延・加工品等の製造・販売	
(5) 資 本 金	119,457 百万円（平成 25 年 9 月末日現在）	
(6) 設 立 年 月 日	昭和 25 年 4 月 1 日	
(7) 連 結 純 資 産	466,231 百万円（平成 25 年 3 月末日現在）	
(8) 連 結 総 資 産	1,811,767 百万円（平成 25 年 3 月末日現在）	
(9) 大株主及び持株比率	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） 6.69 % 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 5.26 % 全国共済農業協同組合連合会 2.58 % （常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社） 明治安田生命保険相互会社 2.36 % （常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社） 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9） 2.26 % 株式会社三菱東京UFJ銀行 1.87 % 三菱重工業株式会社 1.46 % 日本生命保険相互会社 1.39 % 三菱地所株式会社 1.32 % 三菱電機株式会社 1.14 % （平成 25 年 9 月末日現在）	
(10) 日立金属と当該会社の関係		
資 本 関 係	日立金属及び三菱マテリアルの間には記載すべき資本関係はありません。日立金属の関係者及び関係会社と三菱マテリアルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
人 的 関 係	日立金属及び三菱マテリアルの間には記載すべき人的関係はありません。日立金属の関係者及び関係会社と三菱マテリアルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
取 引 関 係	日立金属及び三菱マテリアルの間には記載すべき取引関係はありません。日立金属の関係者及び関係会社と三菱マテリアルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。	
関 連 当 事 者 への 該 当 状 況	三菱マテリアルは日立金属の関連当事者には該当しません。	

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況等

異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (所有割合：0%)
取得株式数	31,620株 (議決権の数：31,620個) うち 株式譲渡による取得株式数 9,620株 うち 募集株式の発行の引受による取得株式数 22,000株
取得価額	株式の対価の額 5,198百万円 アドバイザー費用等 (概算額) 60百万円 合計 (概算額) 5,258百万円
異動後の所有株式数	31,620株 (議決権の数：31,620個) (所有割合：51.00%)

(注) 最終的な株式の対価の額については、株式譲渡契約上の価額調整条項に基づき定まります。

5. 日程

(1) 取締役会決議 (両社)	平成26年1月29日
(2) 株式譲渡契約締結日	平成26年1月29日
(3) 本件取引実行日	平成26年7月1日 (予定)

(注) 本件取引の実行日については、平成26年7月1日を予定しておりますが、わが国の独占禁止法、中国における競争法及び欧州における競争法に関する手続が完了しない場合、これらの手続の完了後となります。

6. 今後の見通し

本件取引の実行は平成27年3月期以降となりますので、本件取引による、日立金属の平成26年3月期通期連結業績予想の変更はございません。

【本件に関するお問い合わせ先】

日立金属株式会社 コミュニケーション室 TEL 03-5765-4075

以上

(参考) 日立金属の当期連結業績予想 (平成25年10月28日公表分) 及び前期連結実績

(百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成26年3月期)	790,000	56,000	54,000	35,500
前期連結実績 (平成25年3月期)	535,779	21,079	21,251	12,955